

# ○次世代社会インフラ用ロボット開発・導入の推進

## 施策背景

我が国の社会インフラをめぐる課題は、老朽化の進行、現場の担い手不足等の課題に直面しており、より効果・効率的なインフラ点検・災害対応を実施するためのロボットの現場への導入を推進する。

H25年度に経済産業省と共同の検討会でロボットの重点導入5分野を設定。H26及び27年度、重点5分野についてのロボットを民間企業等から公募し、直轄現場等でその性能を検証した。H26及び27年度の現場検証において一定の性能が確認された技術のうち、橋梁、トンネル、水中の維持管理分野のロボットについては、H28及びH29年度において現場での試行的導入を図り、H30年度以降での本格導入を目指す。

### I 維持管理

#### ① 橋梁

- ・近接目視を支援
- ・打音検査を支援
- ・点検者の移動を支援

#### ② トンネル

- ・近接目視を支援
- ・打音検査を支援
- ・点検者の移動を支援

#### ③ 水中(河川、ダム)【H28年度】

- ・近接目視を代替・支援
- ・堆積物の状況を把握



### II 災害対応

#### ④ 災害状況調査

(土砂崩落、火山災害、トンネル崩落)

- ・現場被害状況を把握
- ・土砂等を計測する技術
- ・引火性ガス等の情報を取得
- ・トンネル崩落状態や規模を把握

#### ⑤ 災害応急復旧 (土砂崩落、火山災害)

- ・土砂崩落等の応急復旧
- ・排水作業の応急対応する技術
- ・情報伝達する技術

